

「My まっぷラン+ (プラス)」で避難計画を作しましょう

災害時に適切な避難につなげる備えの一つとして、「My まっぷラン+」をご紹介します。

「My まっぷラン+」は一人一人が津波避難計画を作成するツールとして、三重県・三重大学みえ防災・減災センターホームページで公開されています。津波被害・風水害・土砂災害に対応しているデジタルシステムで、ハザードマップを確認した上で、パソコンやタブレットで自身の避難経路を検討・作成することができます。さらに、作成した避難計画をシート形式で印刷することもできます。

地震による津波はもちろん、豪雨による河川の氾濫や土砂災害など、災害の種別ごとに、どこに

逃げるのができるのかを、視覚的に把握することができます。

命を守るために、お住まいの地区の災害特性を知り、適切なルートで安全に避難できるよう、ぜひ「My まっぷラン+」であらかじめ計画を作っておきましょう。



育生地区自主防災協議会の取り組み

育生地区自主防災協議会 会長 清水 明

私たち育生地区自主防災協議会では、平成21年の静岡地震防災センターから始まり、毎年各地へ防災研修として現地視察を行っており、昨年は、石川県能美市防災センターに見学に行きました。

また7年前から、育生小学校4年生にマンホールトイレの設置訓練を行っており、新型コロナウイルス感染症流行前は、小学校全体の防災訓練も実施していました。

平成26年からは、沿岸エリアに位置する地区が合同で、南が丘避難所の開設と受け入れ訓練を行っています。育生地区も参画し、来たる南海トラフ地震に備えた取り組みを行っております。さらに毎年、地区内の小中学校では、津波による浸水の恐れがない校舎の屋上や南が丘地区へ避難する「津波避難訓練」が行われており、当自主防災協議会も訓練の支援や防災卓話を行うなど、子どもたちの防災意識の向上に向

けた取り組みを続けています。

昨年は、津市が作成している広域避難計画に基づき、高台にある地区から津南防災コミュニティセンターへの避難訓練を行いました。訓練後には、地区内にお住まいの皆さんに向けたお知らせを作成し、広域避難について周知を図りました。

また今年1月に発生した能登半島地震を受けて、橋南中学校の1年生と3年生に、ダンボールベッド、間仕切り、トイレの組立訓練を実施しました。

